



福島県いわき市立玉川中学校

学校だより

# たまがわ 5

発行責任者 校長 丹野 英雄

第5号 令和6年8月29日発行

## 【校章の由来】

中央の円は玉川地区の和と円満さを、縦の2本線は学区内を流れる2つの川を表しています。清い川の流れの水しぶきを受け、発展する玉中を象徴するデザインになっています。

それぞれの思いを胸に過ごした夏休み。3年生は、目標とする進路の実現に向け、計画的に学習に励んだり県立高校等の体験入学に参加したりする姿が見受けられました。また、1・2年生は新人大会に向け、心と体を鍛え、ひとまわり大きく成長しました。2学期の活躍が楽しみです。

始業式は、残暑が予想されたため熱中症予防の観点から放送を通じて実施しました。始業式に引き続き各学年の代表生徒が夏休みの反省と2学期の目標を発表しました。比較的涼しい環境が整っている自教室で、それぞれの発表に耳を傾けていた生徒たちですが、その熱い思いはしっかりと受け留めていたようです。

教職員は2学期もすべての生徒が抱えている思いを実現できるように指導・支援に努めていきたいと考えています。その手はじめに、8月28日(水)から30日(金)にかけて学級担任が生徒本人との教育相談を行います。それぞれの生徒が思い描いている目標を実現する上で、本人がやるべきことや

周囲の手助けが必要なことなどを確認しながら実効ある取り組みを促すようにします。

さて、部活動に関して、現在は1・2年生が主体となっていますが、駅伝は3年生の活躍の場が確保されています。市大会は9月5日(木)に21世紀の森公園で開催されます。この大会に向け、男女あわせて約20名の選手が、練習に励み現在も試走を繰り返しています。大会当日も選手の激走に期待し、みんなの熱い気持ちを送る心づもりでいます。選手の皆さんには、思いを釋に込めて上位大会への出場権をつかみ取ってほしいと思います。

さらに、文化面でも本校生徒の活躍が目立っています。いわき支部大会を金賞で通過した本校吹奏楽部が夏休み中に郡山文化センターで開催された福島県吹奏楽コンクール大会において銀賞を受賞しました。また、先日は市英語弁論大会に本校生徒が出場し素晴らしい弁論発表を披露しました。発音や表現の仕方など十分に練習を重ねたことが伝わってくる発表でした。



暑い夏にも走り込みを続け、鍛え抜いた強靱な身体です。駅伝大会では、熱いレース展開が予想されます。



県大会でも素晴らしい演奏で銀賞に輝いた吹奏楽部

## 大きく飛躍する2学期にしたい!

# 住みやすい町とは、どんな環境なの？

突然ですが質問です。日本の中で最も住みやすい町には、どんな特徴があると思いますか？「温かい場所なのかな？それとも寒い場所なのかな？」「海側なのかな？それとも山側なのかな？」「その場所には人が多く住んでいるのかな？それとも少ないのかな？」さあ、イメージしてみましょう。

答えは、岡檀（おか まゆみ）さんが書いた『生き心地の良い町』という本にあります。岡さんは、自死率が極めて少ない町に着目し、四年間にわたる現地調査とデータ解析をもとに、生きやすさの理由を解き明かしました。

自死率が高い地域に目を向けて調査する例は、この本が出版される前にもありましたが、自死の発生を抑えている理由を探ったのは、この本が初めてなのだそうです。

その町は、徳島県南部の太平洋沿いにある小さな町だそうです。四国にある海沿いの町なので、温暖な場所ですね。これが地理的な特徴で

す。人口も少なくはなく過疎地域ではないそうです。では、どのような人々が暮らしているのでしょうか？岡さんは、地域のコミュニティーとして人々がどのようにつながっているかも解き明かしています。生きづらさを取り除いて、誰もが生きやすい地域のコミュニティーは、どう創られていったのか。そこに暮らす人々の6つの特徴が示されています。

(1) 「いろいろな人がいても良いでなくて…いろいろな人がいたほうが良い。」という考えをもっているので、多様性を認め合う意識が育っている。

(2) 「どうせ自分なんて…」という考えをもちあわせていない。老若男女、それぞれの出番・役割があるので、自己肯定感・自己有用感が、どの年代でも男女の別なく高い。

(3) 氏や血筋でなく本人そのものに焦点を当てて人柄を見極める風土があるので、欠点も弱点も含めて自他を好きでいられる。

(4) 「失敗は二度まで許せ」という考えをもっている。「過ちに厳しすぎないが、甘くもない。」といった風

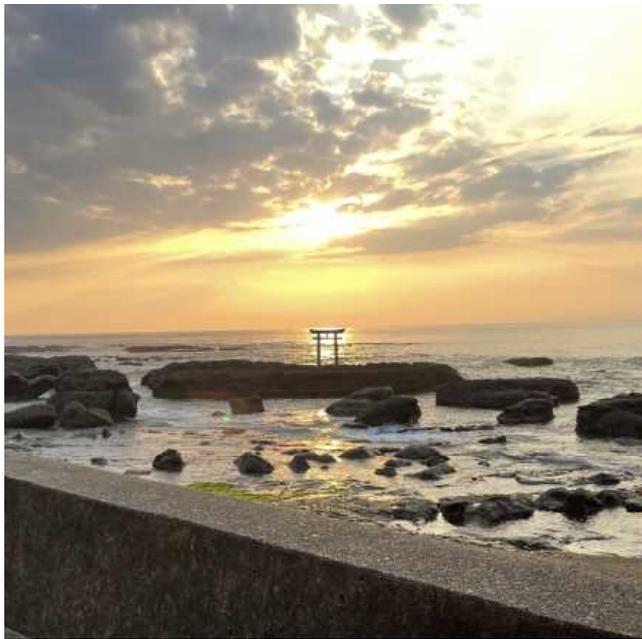
土が育っているため、欠点や弱点がある周囲の人と折り合いをつけながら生活できている。

(5) 「病は市に出せ」という考えをもっている。そのため、困ったことや悩みごとは気軽に公の場（マーケット）に出して相談できる体制や雰囲気ができている。

(6) 「緩やかなつながり」をモットーにしている。近所同士で関心は寄せてい

るが監視するようなことはしないので、自他共に心の居場所づくりができている。

皆さんは、学校や地域といったコミュニティーに属しています。そのコミュニティーの風土を創るのは、皆さん自身です。岡さんが著書『生き心地の良い町』で指摘した人々の(1)～(6)の特徴は、その実現へ向けた大きなヒントになるはずです。ぜひ、皆さんには周囲の人との程よい距離感を保ちながら、互いが生き心地を実感できるコミュニティーを創ってほしいと思います。



## 【教育目標】

健康でたくましく生きる生徒  
自ら進んで学習する生徒  
思いやりをもち奉仕する生徒



QRコードを  
読み取ると  
本校ホーム  
ページにつな  
がります。

〒971-8127

福島県いわき市小名浜玉川町西24番地

TEL 0246-58-6711 FAX 0246-58-6712

E-mail tamagawa-jh@city.iwaki.lg.jp